



住居表示の街区案内図

**総務部門 主要事業実績**

- 中溝、出来庭地区の住居表示を実施 (2,499 万円)
  - 実施面積 1.31km<sup>2</sup>、世帯数 1,847 世帯
- 土地の評価方法を「市街地宅地評価法」へ (974 万円)
  - 用途区分や標準宅地の見直し設定業務など、「路線価方式」への変更準備を実施

**民生部門 主要事業実績**

- 東部地域健康センターが完成 (2 億 2,334 万円)
  - 指定管理者制度の導入により、「NPO 法人きらら会」が施設を管理・運営
- 生活習慣病の予防対策 (589 万円)
  - 「健康くまの21」の取り組みや、個別健康教育等の実施により、健康なまちづくりを推進



東部地域健康センター

**建設部門 主要事業実績**



北部農道 (工房手前のカーブ)

- 北部農道の交通の安全確保 (3,071 万円)
  - 急な縦断勾配やカーブ等の緩和のため、測量設計や用地買収を実施
- 深原地区公園の整備 (1,680 万円)
  - 総合案内板や誘導板の設置、芝生広場を整備

**教育部門 主要事業実績**

- 外国人英語指導助手の派遣 (1,607 万円)
  - 小学校 4 校に 2 名、中学校 2 校に 1 名の指導助手を派遣し、異文化交流と英語教育の充実を推進
- 第一小学校の大規模改造工事が終了 (2 億 7,996 万円)
  - 耐震補強工事や改修工事を実施



第一小学校 (○が補強部分)

◎平成19年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、左記の指標について、いずれも「財政健全化団体」及び「財政再生団体」としての基準を下回っており、本町の財政状況は良好な状態であるという監査委員からの意見が、本会議に報告された。

●健全化判断比率

① 実質赤字比率

② 連結実質赤字比率

※ 共に赤字額がないため、算定されない

③ 実質公債費比率 10.9 %

④ 将来負担比率 68.3 %

●資金不足比率

① 水道事業 (法適用)

② 下水道事業 (法非適用)

※ 共に資金不足額がないため、算定されない

**平成19年度 各会計決算を認定!!** 実施された事業の成果をチェック!

**平成19年度 各会計歳入歳出決算額**

区分	決算額		差引額	
	歳入	歳出		
一般会計	66 億 4,297 万円	63 億 7,190 万円	2 億 7,107 万円	
特別会計	国民健康保険事業	32 億 2,170 万円	31 億 8,437 万円	3,733 万円
	老人保健医療	20 億 5,121 万円	19 億 8,052 万円	7,069 万円
	公共下水道事業	10 億 7,760 万円	10 億 5,855 万円	1,905 万円
	介護保険	15 億 3,841 万円	15 億 2,079 万円	1,762 万円
上水道	収益的収支	5 億 2,100 万円	4 億 6,664 万円	5,436 万円
	資本的収支	1 億 2,421 万円	2 億 5,469 万円	(※) △1 億 3,048 万円

※ 企業債の繰上償還を行ったため。

9月10日から開会した「第3回定例会」に、町長から平成19年度各会計決算認定案が提出され、議員全員で構成する「決算特別委員会」を設置し審査を行った。

委員会では各事業について詳細な説明を受け、会計関連の帳簿等の審査や質疑を交えて入念な審査を行い、本会議での委員会報告を全会一致で認定した。

**委員会での主な総括質疑をピックアップ!!**

**【総務部門】**

Q 過去3年間の町税の不納欠損額はいくらか。また、その事後処理は。

A 不納欠損には、財産の差し押えや分納の約束等により対応している。

年度	不納欠損額
19	1千287万7千円
18	1千518万2千円
17	1千227万7千円

**【民生部門】**

Q 年々増加する医療費について、どのような対策を行っているのか。

A 国保の医療費については、広報紙等で適正な受診をしていただくよう啓発を行い、疾病予防対策についても健康課と連携し取り組んでいく。

**【建設部門】**

Q 水道使用量が昨年度と比較すると下がっているが、収益への影響は。

A 石油や資材の高騰による節水意識の高まりが影響していると考えられており、経営には影響がないと考えている。

**【教育部門】**

Q 今年、学校のプール開放に伴い、漏水などの事故はあったのか。

A 第二小学校及び第四小学校で、濾過機が一時故障したが、早急に修理を行い、使用できるようにした。プール開放自体には、支障はなかった。